

平成23年8月3日
独立行政法人農畜産業振興機構

肉用牛肥育経営安定特別対策事業（新マルキン事業）の
肥育牛補填金単価について【平成23年度第1四半期】

平成23年度第1四半期（平成23年4月から6月まで）に販売された交付対象の契約肥育牛に適用する肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱第5の6の（10）のアの（ア）の肥育牛補填金の単価については、下記のとおりです。

記

肉専用種	交雑種	乳用種
33,200円	51,300円	49,600円

注：本事業は、新たな事業として基金の運営、管理を平成22年4月から開始したことから、補填金交付額に見合う財源を確保できない場合、肉用牛肥育経営安定対策事業（マルキン事業）同様に、上記補填金単価を減額することがあります。

- 肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱（抜粋）
第5の6の（10）のアの（イ）
県団体は、肥育安定基金の全額を取り崩してもなお支払うべき肥育牛補填金の額に不足が生じる場合は、理事長の承認を受けて、補填金単価を減額することができるものとする。

連絡先

畜産経営対策部 肉用牛肥育経営課
担当：石原、藤島
電話：03-3583-8562

(参考1)

肥育牛補填金の単価の算定について

【平成23年度第1四半期】

単位：円／頭

区 分	肉専用種	交雑種	乳用種
平均粗収益 (A)	781,861	514,563	300,243
平均生産費 (B)	823,478	578,704	362,301
差額 (C)=(A)-(B)	△ 41,617	△ 64,141	△ 62,058
補填金単価 (C) × 0.8	33,200	51,300	49,600

注：100円未満切り捨て

(参考2)

平均粗収益等の算定基礎

【平成23年度第1四半期】

(単位:円/頭)

区 分	平均粗収益及び平均生産費		
	肉専用種	交 雑 種	乳 用 種
平均粗収益 (A) = ① + ②	781,861	514,563	300,243
副産物価格 ①	11,137	7,238	5,268
主産物価格 ② = a × b	770,724	507,325	294,975
平均枝肉価格(円/kg) a	1,626	1,115	675
平均枝肉重量(kg) b	474	455	437
生産費総額 ③	835,477	591,994	369,233
もと畜費	387,578	203,501	86,729
飼料費	278,970	278,590	210,560
うち流通飼料	276,183	277,616	209,700
うち牧草放牧	2,787	974	860
敷料費	12,821	8,849	7,992
光熱水料及び動力費	9,930	7,651	6,577
その他の諸材料費	414	426	274
獣医師料及び医薬品費	8,004	4,974	2,498
賃貸料及び料金	3,919	1,464	2,409
物件税及び公課諸負担	5,002	2,806	2,138
建物費	13,861	12,417	7,617
自動車費及び農機具費	14,808	9,409	6,366
生産管理費	1,783	1,471	463
飼養労働費	72,568	43,424	26,034
うち家族労働費	67,694	40,948	24,586
費用合計	809,658	574,982	359,657
支払利子	13,469	3,499	2,400
支払地代	351	223	244
自己資本利子 ④	9,519	11,801	5,860
自作地地代 ⑤	2,480	1,489	1,072
平均生産費 (B) = ③ - ④ - ⑤	823,478	578,704	362,301
差額 (C) = (A) - (B)	△ 41,617	△ 64,141	△ 62,058

注) 主産物価格は、肉専用種については28市場及び相対取引等の平均、交雑種、乳用種については、28市場の平均である。

(参考3)

肉専用種の主産物価格の内訳
【平成23年度第1四半期】

	平均枝肉価格 (円/kg)	平均枝肉重量 (kg/頭)
28市場	1,636	478
相対取引等	1,612	469
計	1,626	474

注1：28市場とは、中央卸売市場10市場と指定市場18市場での取引である。

注2：相対取引等とは、北海道、岩手県、秋田県、山形県、岐阜県、滋賀県、山口県、香川県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県における食肉センター等での取引である。

なお、熊本県、宮崎県及び鹿児島県での取引については、以下により公表されている。

- (社) 熊本県畜産協会
- (社) 宮崎県畜産協会
- (社) 鹿児島県畜産協会